

平成25年度 決算書

# 町の家計簿

ダイジェスト版

「北緯45度 癒しの里」

ロマン息づく大自然の町ー中頓別



## 目次

平成25年度決算状況	2
監査委員の決算審査意見	15
財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、 純資産変動計算書、資金収支計）	18

平成26年10月  
中頓別町

平成25年度各会計の決算額は、下記のとおりです。

本年度の一般会計も含めた8会計の予算総額は、4,929,966千円で前年度と比較して、95,853千円の縮減予算となりました。

歳入面では、予算総額に対し、22,914千円の増収となり4,952,880千円を確保し、一方歳出面では、予算総額に対し、138,144千円の不用額が発生し、4,791,822千円の執行となり、次年度に繰越して利用できる財源が161,058千円となりました。

本町は、町税等の自主財源が少なく、国から交付される地方交付税に頼っている財政基盤の脆弱な町であることから、今後とも財政の健全化を図りつつ、住民生活の向上や住民福祉の増進に努めてまいります。

以下個別の内容について申し上げます。

## 各会計ごとの決算状況



会計の名称		会計の内容	収入	支出
一般会計		町の一般的な仕事をする会計で下記の会計を除いたものです。	37億2,998万円	35億9,136万円
自動車学校		教習生の授業料などを収入に普通自動車免許、大型特殊免許の講習を行っています。	3,201万円	3,186万円
国民健康保険		国民健康保険税などを収入に加入者の医療費の給付などを行っています。	2億9,930万円	2億9,197万円
国保病院	収益的支出	医療収益を基に町民への医療サービスを行っています。	4億7,447万円	4億5,536万円
	資本的支出		1,092万円	1,632万円
水道		水道使用料を収入に浄水場などの維持管理と町民への給水サービスを行っています。	8,449万円	8,418万円
下水道		下水道使用料を収入に終末処理場の維持管理と下水道サービスを行っています。	9,435万円	9,388万円
介護保険		介護保険料などを収入に要介護認定を受けた方に介護・支援サービスを行っています。	2億 26万円	1億9,979万円
後期高齢者医療		老人保健制度に替わる制度で、保険料などを収入に広域連合などの負担金の支払いを行っています。なお、医療費などの給付は全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が行っています。	2,710万円	2,710万円
合計			49億5,288万円	47億9,182万円

# 財政健全化法による健全化判断比率及び資金不足比率

## ◆財政指標(1)

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	12.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しませんでした。

※将来負担比率は将来の負担額より地方交付税で措置される額や基金(貯金)の現在高を合わせた額のほうが大きいいため、比率が発生しませんでした。

### 実質赤字比率

福祉や教育、観光や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

### 実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

### 連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

### 将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

## ◆財政指標(2)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険病院事業	—	20.0%
水道事業	—	
下水道事業	—	

※いずれの会計も赤字がないため、比率は発生しませんでした。

### 資金不足比率

それぞれの公営企業会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの

# 実質公債費比率

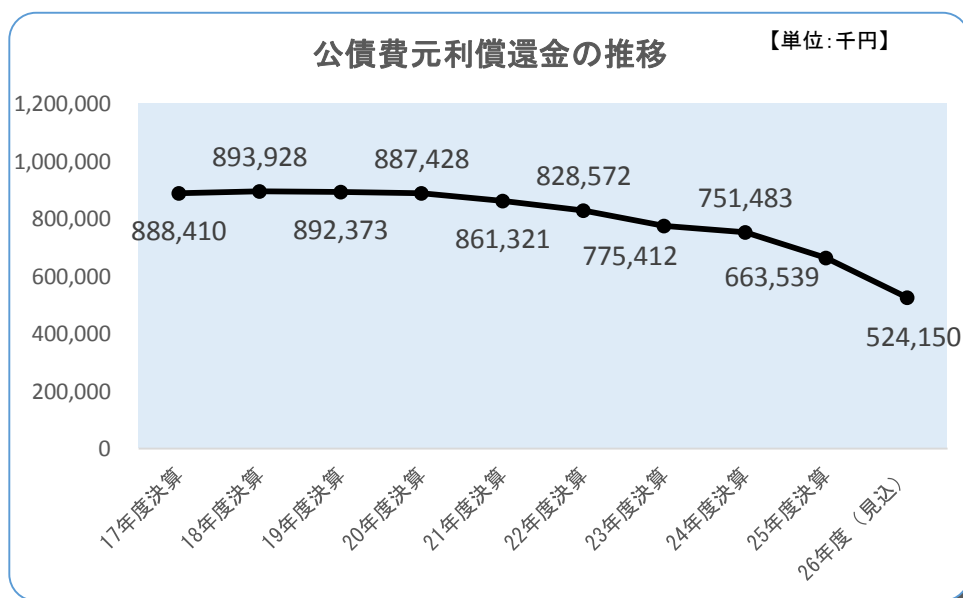
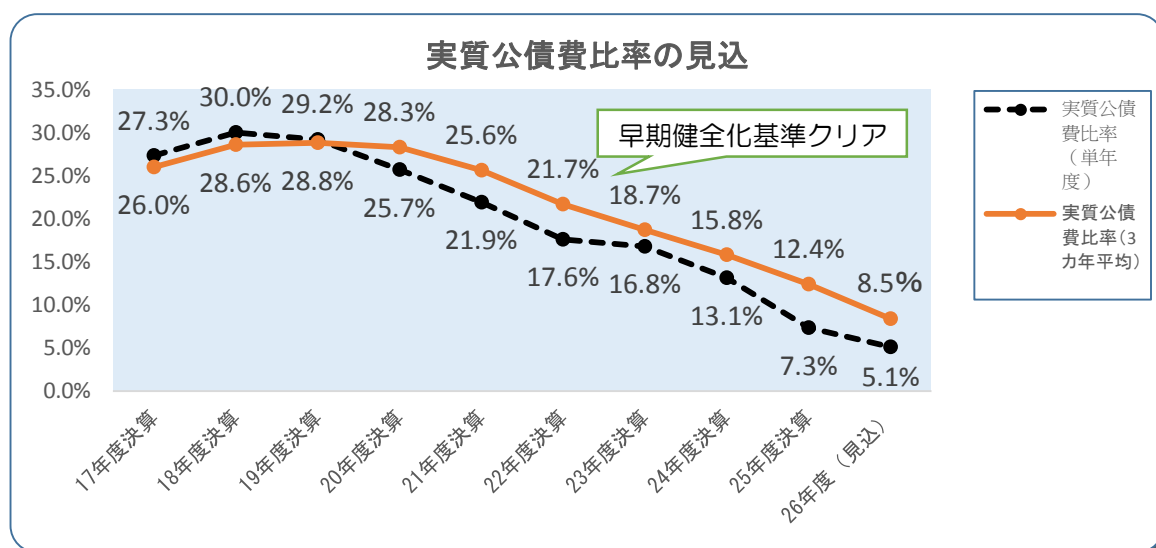
平成23年度～平成25年度の3カ年平均

# 12.4%

実質公債費比率とは、町の収入に対する町全体の借金返済額の比率を示す財政指標です。

今年度は、昨年度の実質公債費比率15.8%より3.4ポイント減少した結果、国の制約を受けない協議団体に移行となりました。財政健全化法による健全化判断比率の実質公債費比率は3カ年平均で算定されます。

今後も引き続き地方債借入額を最小限に抑え、公債費負担の軽減を図りながら、財政運営の健全化に努めていきます。



※ 公債費元利償還金は、決算統計のルールに従って算出した推移ですので、決算の数値とは異なります。

# なかとん 中屯真

# さんちの

## 収入

1ヵ月の収入合計 36万円 (39万円) の内訳

### 給料 (83.3%)

30万円

(32万7千円)

基本給 1万4千円
町税 1億5千万円

能力(歩合)給 24万8千円
地方交付税 地方譲与税などの国 からの交付金 25億7千万円



手当 3万8千円
国庫支出金 道支出金 3億9千万円

一般会計を  
1世帯あたりに例えた場合

### 預金引き出し (0.5%)

2千円 (2千円)

繰入金 2千万円
-------------

### パート収入 (5.3%)

1万9千円 (1万6千円)

使用料・手数料など 2億円
------------------

### ローン借入れ (7.8%)

2万8千円 (3万円)

町債 2億9千万円
--------------

### 前月からの繰越金 (3.1%)

1万1千円 (1万5千円)

繰越金 1億1千万円
---------------



今年は、給料が大きく減ってしまったな～  
臨時的なパート収入が増えたけど、これから  
も、給料が減るかもしれないから、できるだ  
け借金をしないようにがんばらないと・・・

( )内は平成24年度の金額

# 家計簿

【1ヵ月の計算方法】(例)  
平成25年度支出→35億9千万円  
×1/863(世帯数)÷12ヵ月=34万7千円

## 支出

1ヵ月の支出合計 34万7千円(37万8千円)の使い途



家賃・光熱水費(14.7%)  
5万1千円(4万8千円)

総務費  
5億3千万円



医療・衛生費(10.7%)

3万7千円(3万8千円)

衛生費  
3億8千万円

衣料・食料費(16.4%)

5万7千円(6万円)

民生費・農林水産業費・商工費  
5億9千万円

子供の学費(4.6%)

1万6千円(1万9千円)

教育費  
1億6千万円

家や道路の整備代など(5.2%)

1万8千円(2万円)

土木費  
1億9千万円



その他(27.9%)

9万7千円(10万7千円)

議会費・労働費・消防費など  
10億円

ローン返済(20.5%)

7万1千円(8万6千円)

公債費  
7億4千万円

今年も昨年に引き続き将来に備えるための貯金をしたから、出費が多くなったわ。光熱水費もだんだん増えてきているし、夫の給料も下がってるから将来が不安だわ。それにまだまだローンの返済が重くのしかかっているし、節約してがんばらなきゃね。





# 特別会計への繰出金



総額 3億6,784万円

(対前年比 3,814万円減りました)

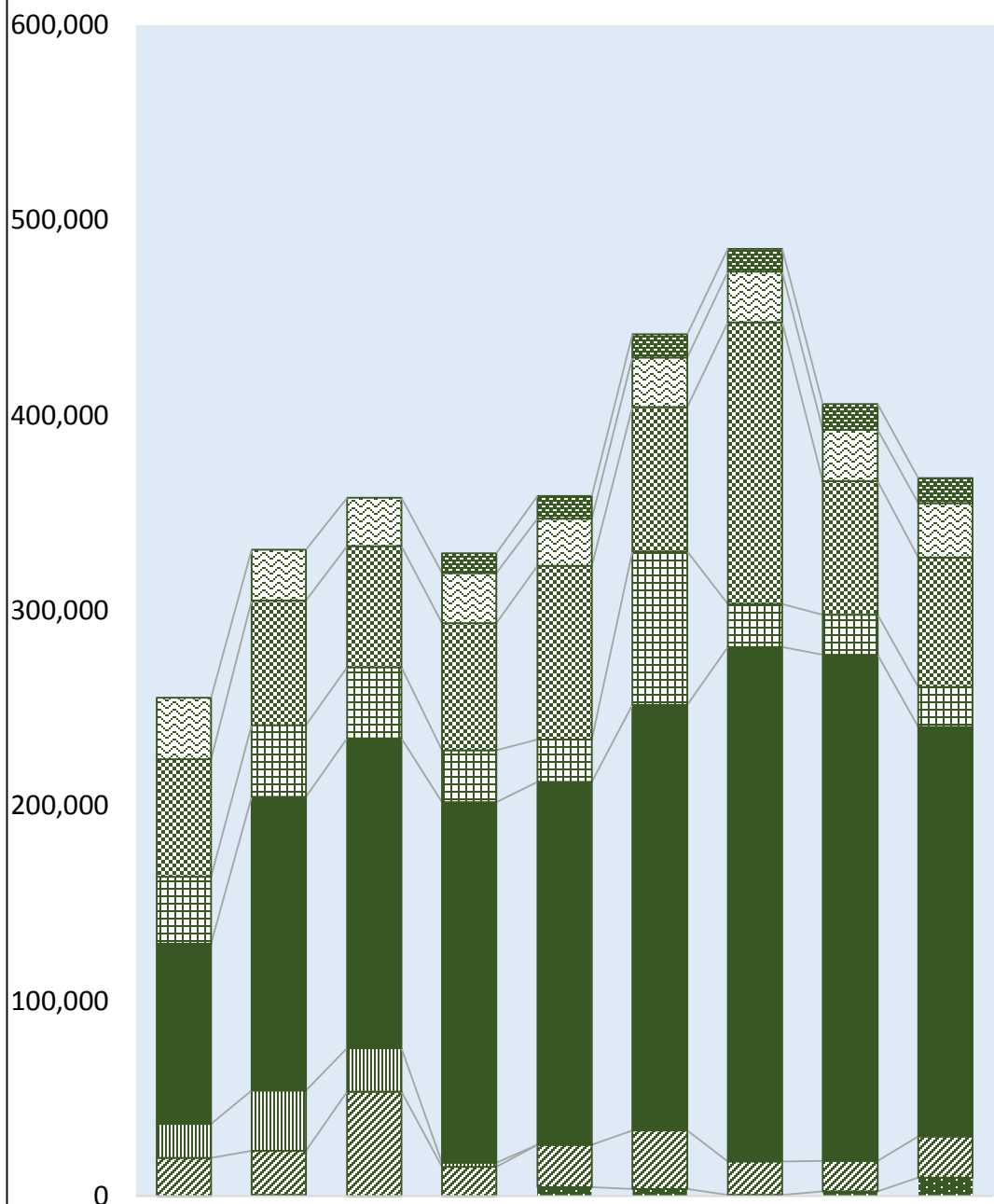
特別会計は独立採算性が基本です。お金が足りない場合は、一般会計の仕事を我慢してもらって繰り出すこととなります。つまり、町民の皆様へのサービスを一部我慢してもらうこととなります。この繰り出しが多いことは健全な財政とはいえません。ただし、特別会計繰出金の中には国の制度により繰り出すもの（ルール分）があります。このルール分は削減できませんが、それ以外の不採算運営費（赤字）に伴う繰出金の削減が、財政の健全化のための重要な課題といえます。

	平成25年度	平成24年度	増減
☆ルール分のみ繰り出しの会計			
●水道へ	2,068万円	2,068万円	
●介護保険へ	2,794万円	2,651万円	143万円
●後期高齢者医療へ	1,260万円	1,311万円	▲50万円
☆不採算運営費補てんのある会計			
●国民健康保険へ	2,134万円	1,560万円	574万円
うち不採算分	900万円		皆増
●自動車学校へ	939万円	249万円	690万円
うち不採算分	939万円	249万円	690万円
●国保病院へ	2億 963万円	2億5,930万円	▲4,967万円
うち不採算分	1億4,901万円	1億8,863万円	▲3,962万円
●下水道へ	6,626万円	6,830万円	▲204万円
うち不採算分	4,587万円	4,273万円	314万円

(単位:千円)

事業名	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
自動車学校	—	—	—	—	4,700	3,760	600	2,492	9,389
知的障害者福祉	—	574	—	—	—	—	—	—	—
国民健康保険	19,648	22,679	53,607	14,970	21,641	29,904	17,231	15,600	21,338
老人保健	17,400	30,808	22,230	2,323	140	—	—	—	—
国保病院	92,316	150,516	158,714	184,511	185,749	218,106	263,624	259,297	209,631
水道	34,268	36,861	36,600	26,814	21,936	78,628	21,937	20,684	20,684
下水道	60,300	63,800	62,050	65,000	89,000	74,000	144,500	68,300	66,260
介護保険	31,617	26,099	24,763	25,732	24,147	25,433	25,959	26,506	27,941
後期高齢者医療				10,072	11,543	11,811	11,603	13,107	12,600
合計	255,549	331,337	357,964	329,422	358,856	441,642	485,454	405,986	367,843

(単位:千円)



- 自動車学校
- 知的障害者福祉
- 国民健康保険
- 老人保健
- 国保病院
- 水道
- 下水道
- 介護保険
- 後期高齢者医療



# 平成25年度に行った主な事業

## ■ 道路

### 6丁目線改良舗装工事

1,419万円

改良・舗装工事 225.6m (奥山さんの車庫～終点の道道美深中頓別線までの区間)

### 10丁目線改良舗装工事

484万円

改良・舗装工事 95.6m (国道(川越さん)～除雪センターまでの区間)

## ■ 農業

### 中頓別町営牧場草地更新事業

403万円

町営牧場は、造成から十数年が経過しており、草地の老朽化が進み、入牧牛の生育や受胎成績が年々悪化している状況にあることから、計画的な草地の更新を行い、授精牧場としての機能の強化を進めました。

### 青年就農給付事業

新規就農者(親元就農含む)は、就農後の経営の安定化に期間を要することから、経営が軌道に乗るまでの間、一定条件を満たす新規就農者に対し、国が支援を行う制度で、平成24年度から実施されています。



188万円

## ■ 林道

### 森林管理道弥生線開設事業

2,821万円

林道開設480m  
(一乙内川横断付近から約180mのところ～鍾乳洞方向までの区間)



### 森林整備加速化林業再生事業

4,117万円

作業道と間伐と一体的に整備することにより森林整備の効率化が促進され林業経営の安定化を図りました。

## ■ 生活

### 水槽付消防ポンプ自動車更新購入事業

6,005万円

昭和61年に購入し老朽化した水槽付消防ポンプ自動車(水2,000ℓ)を更新しました。

### 地上デジタル放送共聴アンテナ改修事業

1,607万円

地上デジタル放送難視状況にある地域(世帯)の恒久的な対策を講じるため、「中頓別・旭台・上駒」地区を対象とした地上デジタル共聴アンテナ設備を整備しました。

### 市街地照明灯LED化改修事業

2,328万円

全国的に省エネへの取り組みが進められる中、町としても具体的な方策の一つとして町内の道路照明灯及び防犯灯をLED照明灯へ更新しました。

### 予防接種事業

535万円

予防接種法に基づき定期の予防接種(BCG、ポリオ、四種混合、麻しん風しん、65歳以上の方のインフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)を医療機関に委託し、実施しました。

## 後期高齢者お見舞金助成事業

598万円

後期高齢者に対し医療に要する経費の一部を助成することにより、医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるよう、後期高齢者の福祉の増進を図りました。



## 乳幼児等医療給付事業

294万円

満18歳までの子どもたちに対し医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、乳幼児等の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図りました。

## 歯科診療所施設整備事業

1,323万円

歯科診療所の増改修工事を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援しました。

- ・ 歯科診療所増改修
- ・ 歯科レントゲン購入



(964万円)

(359万円)

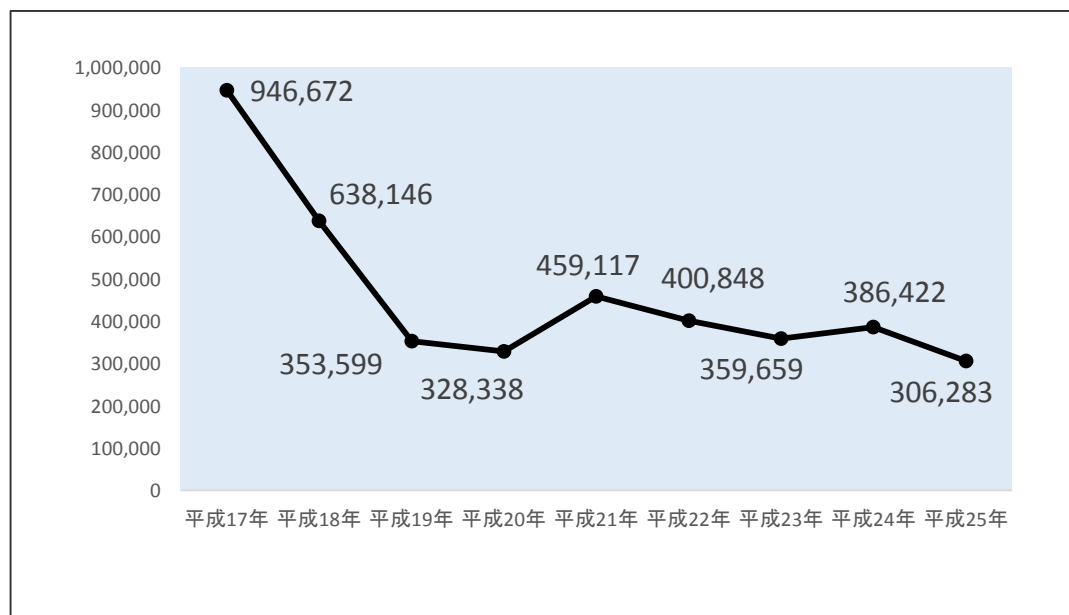
## ■その他

## 賃貸住宅建設促進助成事業

3,235万円

町内に民間アパート等の賃貸住宅はないことから、民間活力による賃貸住宅の建設を推進し、町内に賃貸住宅を建設する個人又は法人に対し、経費の一部を助成し、良質な賃貸住宅の供給の促進と町民の定住促進を図りました。

# 一般会計 普通建設事業の推移



紙面等の都合により、臨時的かつ金額の大きい事業のみ掲載しました。なお、詳細の資料を希望する方は中頓別町役場総務課総務グループ財政担当までご連絡ください。また、中頓別町ホームページでの詳細資料を掲載しておりますので御利用ください。

中頓別町HPアドレス

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>



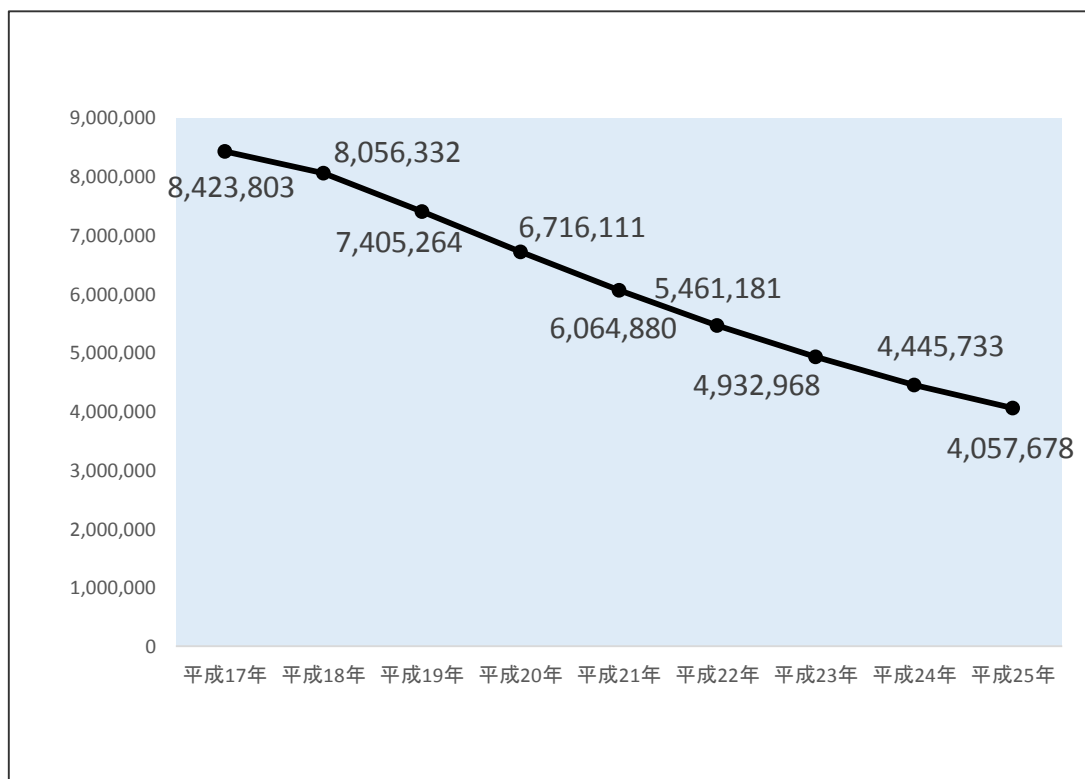
# 借金（一般会計）

40億5,768万円

(対前年比 3億8,805万円減りました)

平成24年度末 地方債残高	+	平成25年度 借入高	-	平成25年度 返済高	=	平成25年度末 地方債残高
44億4,573万円		2億9,329万円		6億8,134万円		40億5,768万円

## 中頓別町のこれまでの借入金残高の状況(一般会計)



公共事業を抑制したことにより借入金残高が、年々減少傾向にあり効果が現れてきています。

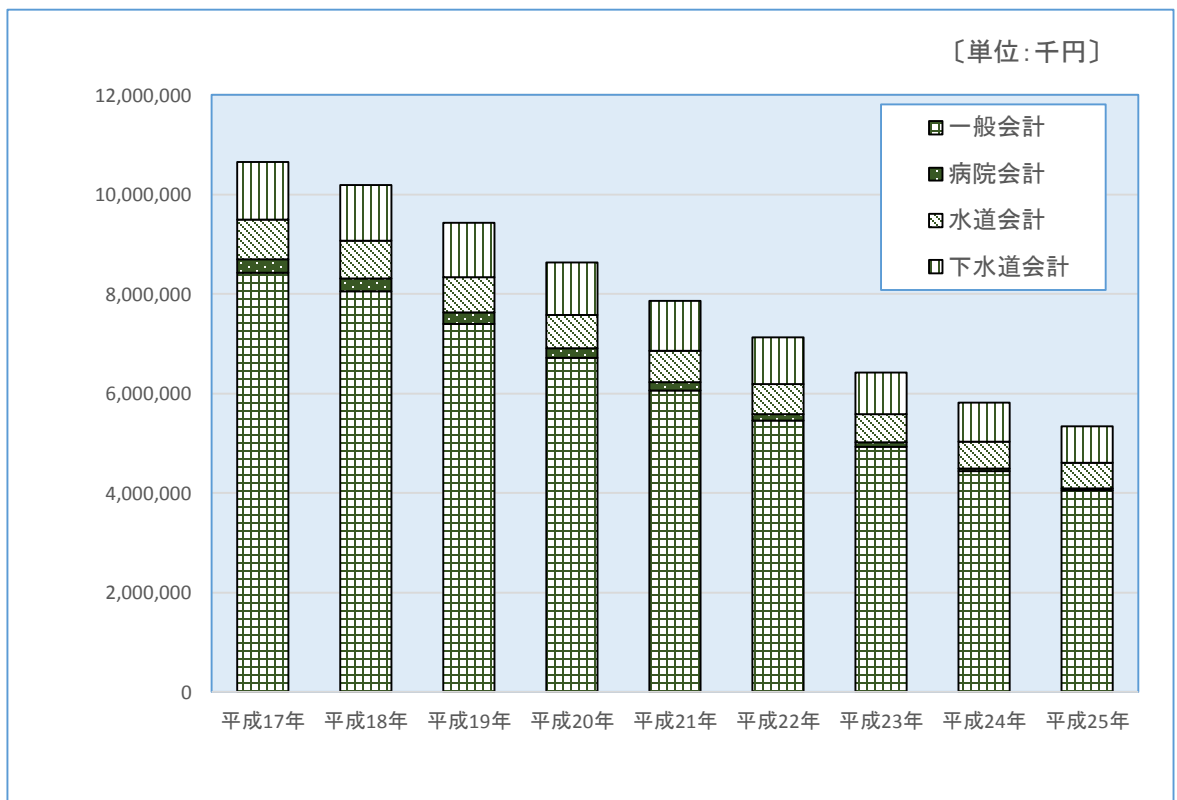
これらの借入金のうちの多くは、返済額の一定割合を地方交付税で国から交付されるしくみになっています。たとえば、もっとも借入額が大きい「過疎債」では、元利償還金の70%が地方交付税で補てんされます。町は公共事業を実施する場合、こうした有利な「借金」を活用するように工夫してきました。

# 借金 (全会計)

53億4,157万円  
(対前年比 4億7,500万円減りました)

	平成24年度末 地方債残高	平成25年度 借入高	平成25年度 返済高	平成25年度末 地方債残高
一般会計	44億4,573万円	2億9,329万円	6億8,134万円	40億5,768万円
水道会計	5億4,474万円		3,004万円	5億1,470万円
病院会計	4,193万円	220万円	823万円	3,590万円
下水道会計	7億8,417万円		5,088万円	7億3,329万円
計	58億1,657万円	2億9,549万円	7億7,049万円	53億4,157万円

## 中頓別町のこれまでの借入金残高の状況



独立採算を基本としている公営企業（水道、下水道、病院）においても事業を実施するため、起債（借金）の借入を行っており、その存在する借金は中頓別町が支払うべき借金総額となります。（南宗谷消防組合や南宗谷衛生施設組合などの一部事務組合に対しての負担金にかかる分は含まれておりません。）

# 貯金

33億7,788万円

(対前年比 5億7,782万円増えました)



	平成25年度	平成24年度	増減
財政調整基金	6億2,750万円	4億2,743万円	2億 7万円
減債基金	6億4,064万円	6億2,746万円	1,318万円
長寿園施設改修拡張事業基金	4億7,069万円	2億8,615万円	1億8,454万円
天北線代替輸送確保基金	3億 306万円	3億 292万円	14万円
畜産振興基金	2,806万円	2,714万円	92万円
地域振興基金	3,530万円	3,529万円	1万円
まちづくり基金	1億2,661万円	1億2,657万円	4万円
土地開発基金	2,199万円	1,976万円	223万円
地域福祉基金	1億1,437万円	1億1,433万円	4万円
中山間水と土保全基金	622万円	622万円	
農林業活性化基金	5,592万円	5,590万円	2万円
豊かな環境づくり基金	473万円	273万円	200万円
ふるさと応援寄附基金	539万円	445万円	94万円
公共施設整備等基金	6億 19万円	5億 10万円	1億 9万円
地域活性化基金	2億9,543万円	2億1,417万円	8,126万円
未来を担うこどもの健全育成と教育の基金	1,568万円	1,430万円	138万円
介護保険給付費準備基金	1,887万円	2,031万円	▲144万円
水道事業特別会計基金	723万円	1,483万円	▲760万円

**公共施設整備等基金**は、今後見込まれる公共施設の建て替えや改修・解体に備えるために積み立てた基金です。

**地域活性化基金**は、地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保をはじめ、地域住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るために積み立てた基金です。

## 〔コラム〕公表されている決算等の数値に相違が生じる場合があります。

この、「町の家計簿」に用いている数値、金額については、各会計での決算書の数値をもとにつくっています。

しかし、他の財政数値として公表されるもののほとんどが決算統計（地方財政状況調査）で集計された数値を使うのが一般的とされています。また、財政状況を示す数値（経常収支比率、実質公債費比率など）やこの後に掲載している、貸借対照表（バランスシート）、行政コスト計算書についても決算統計で集計された数値を使っています。

各会計決算書と決算統計で集計をする場合に根拠（集計上のルール）が異なるため、数値が異なる場合が生じますので、あらかじめご了承ください。

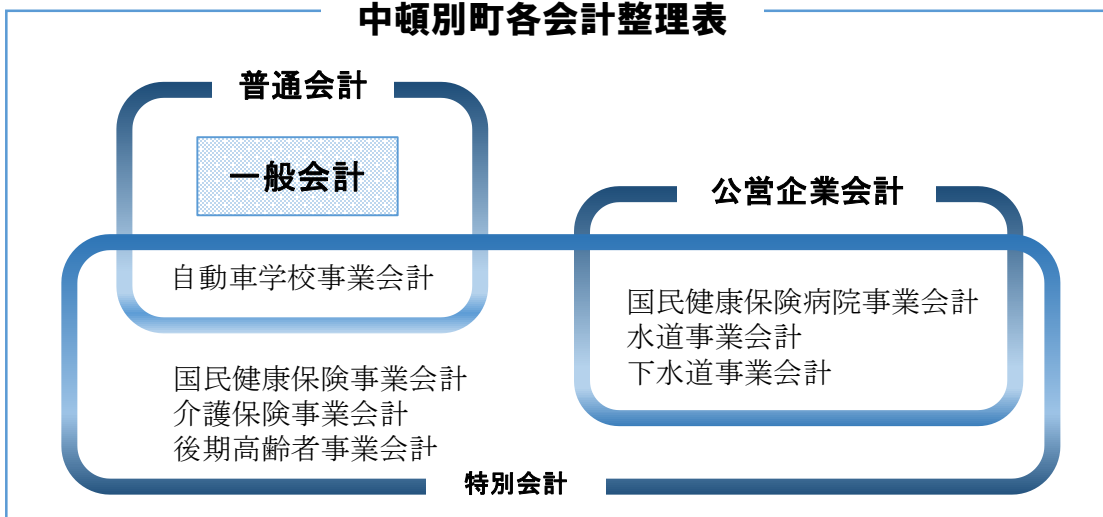
異なる内容として、一例をあげますと、現在、一般会計で、償還（借金の返済）してる起債の一部において、水道、下水道、病院に係るものが含まれています。決算統計のルールとして、そうした費用については、それぞれの公営企業決算統計にて計上することとされているため、普通会計での決算統計では除外されているからです。また、人件費についても、予算決算では総務費で議会、教育、水道等の特別会計を除く全ての人件費を支出しています。しかし、決算統計では、これらの人件費をそれぞれの目的（民生費、土木費など）に振り分けて計上しています。こうしたルール上の金額の組み換え、除外が数点あるため、決算上の数値と決算統計上の数値と異なるという現象が生じてきます。

さらに、各種数値について、一般会計、普通会計、〇〇特別会計、公営企業会計等さまざまな財務上の括りがあり、どこの数値を公表しているのか、その表題に必ず記述するようにしていますので、ご確認ください。

※各会計について、わかりやすく記述すると下記のとおりとなります。

今後、数値を公表する場合には、決算統計の数値を載せています等の注釈を記述し、よりわかりやすい数値、資料の提供を行っていきたいと考えています。

### 中頓別町各会計整理表



※決算統計上の会計区分





**発行：中頓別町**

**編集：総務課総務グループ**

〒098-5595

北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6

TEL(01634)6-1111 FAX(01634)6-1155

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>